

キミに決めた!



個性的なキミへ、シュート!

AO入試 **2015** ガイド

Admissions Office Entrance Examination

AO入試とは

What are Admissions Office Entrance Examination?

AO

鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、文化等への寄与を教育目標にしています。

このため、入学者選抜においても、AO入試を採用して、多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。

選抜のポイント 平成26年度AO入試第1次選考

平成26年度AO入試が、どのように行われたかについて、第1次選考のポイントを示したものです。平成27年度AO入試が、次のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

1 書類選考

出願書類の志望理由書、自己推薦書、調査書の精査を行いました。志望理由書と自己推薦書からは、「学科への意欲関心や志望動機」、「高校等での活動歴」、「文章の表現力」を中心に評価しました。志望理由書の資格・検定等と調査書からは、資格取得の内容、特記事項の記載事項を中心に評価し、特に英語に関する資格では、一定以上の実力があると判断した場合に加点しました。

2 個人面接

受験生1名に対して面接官2名で15分程度行いました。志望理由書から、なぜ本学学部・学科を志望するのか、学びたい学問の興味関心がより深いのか、大学卒業後に何をしたいか、なぜAO入試で受験するのか、それらについてより詳しく、具体的な説明を求めたり、質問内容を正しく理解しているか、その回答は自分でよく考え、論理的かつ明確に表現できるかということを中心に評価しました。自己推薦書から自分の強みは何か、学校生活で力を入れて取り組んだことは何かについて、より詳しく、具体的な説明や論理的かつ明確に答えられるかを中心に評価しました。

AO入試について

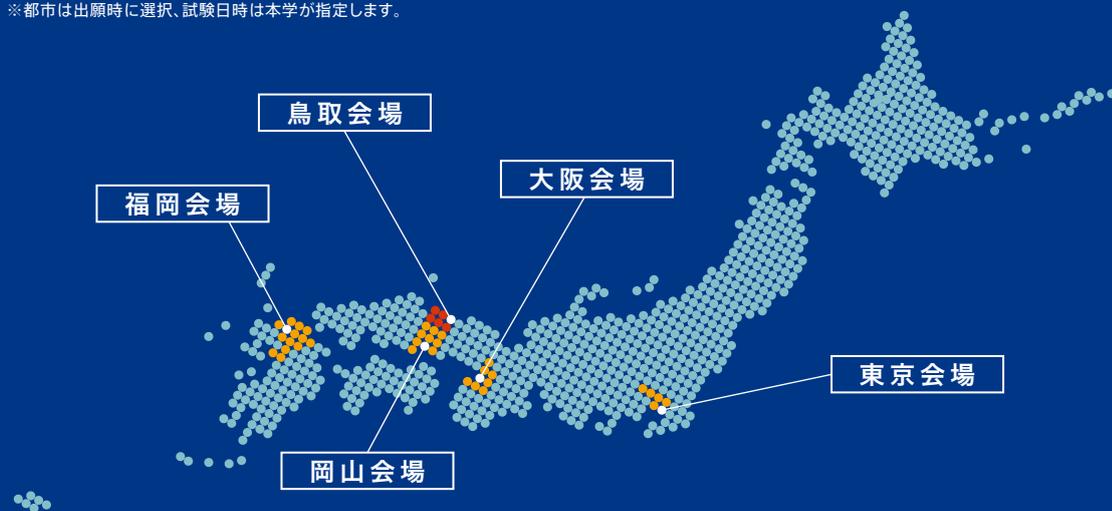
■ スケジュール

出願期間	平成26年 9月 4日(木) ~ 9月 9日(火)
第1次選考(本学を含む5会場)	平成26年 9月19日(金) ~ 9月28日(日)
第1次選考結果発表	平成26年10月 7日(火)
第2次選考(本学)	平成26年10月18日(土) ~ 10月19日(日)
合格発表	平成26年10月28日(火)
入学手続	平成26年11月14日(金) ~ 11月15日(土)
合宿研修	平成26年11月14日(金) ~ 11月16日(日)

■ 第1次選考試験日・会場

試験日	試験会場(所在地)	
平成26年9月19日(金)	福岡	アクロス福岡(福岡市中央区天神1-1-1)
平成26年9月19日(金)	東京	AP品川(東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9F・10F)
平成26年9月20日(土) ~ 9月21日(日)	大阪	大阪ガーデンパレス(大阪市淀川区西宮原1-3-35)
平成26年9月21日(日) ~ 9月23日(火)	岡山	岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14-1)
平成26年9月25日(木) ~ 9月28日(日)	鳥取	鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)

※都市は出願時に選択、試験日時は本学が指定します。



■ 入試データ

鳥取大学 AO入試実施学科の入学試験状況
(平成26年度、平成25年度の過去2年間、カッコ内は女子を内数で示す。)

学部	学科	平成26年度入試				平成25年度入試			
		募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数
地域学部	地域政策学科	6	21(10)	12(8)	7(7)	6	18(4)	12(4)	6(2)
	地域教育学科	4	19(17)	9(8)	2(1)	4	26(16)	10(10)	4(4)
	地域文化学科	4	14(11)	8(8)	4(4)	4	15(12)	8(8)	4(4)
	地域環境学科	5	10(4)	8(4)	3(1)	5	6(1)	5(1)	3(1)
工学部	社会開発システム工学科	2	5(0)	3(0)	0(0)	5	14(0)	4(0)	1(0)
農学部	生物資源環境学科	10	45(17)	24(12)	10(7)	14	66(30)	28(16)	10(8)



2年 | つばい まい 坪井 麻伊 さん [私立静岡県富士見高等学校 出身]

■ 願書に自分のすべてを込めてアピール

私の故郷は、世界遺産に登録された富士山麓の町。日本のシンボルであり威容を誇る富士山ですが、実はごみの不法投棄、湧き水問題など多くの課題を抱えています。「人と自然が共生できる地域づくり」、それが学べるところはどこかと探し、見つけたのが鳥大の地域政策学科。2年次に1年間かけて行う「地域調査実習」はきっと自分の糧になると感じ、高3の春には第1志望に決めていました。思いを胸に入志願書を作成。ところが「きれいに書きすぎ。もっと自分をさらけ出せ」と担任から厳しいダメ出しが。故郷への思い、鳥大で何を学びたいのか、高校生活で培った力などを具体的に表現しようと何度も書き直しました。

■ 社会問題を注視、自分の意見を持とう

2次選考対策として、新聞・TVニュースを毎日欠かさずチェック。世相問題を扱ったTVの情報番組をスクーリングに見立て、内容を要約したり自分の意見をまとめる練習も。これは課題論文対策にもつながるので、一石二鳥ですよ。大事なことは自分の地域のことをしっかり把握できているかどうか。実は論文の要はこれかも。練習の甲斐あって、本番では独自のアイデアを盛り込んで書くことができました。ディスカッションでは、自己主張ばかりでなく相手の意見を取り入れながら発言するよう気を付けました。AO入試は学力だけでは分からない「自分」を見てもらえるチャンス。自分をよく知りアピールできるようになると、試験を楽しめますよ。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 6人

【趣旨】 多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、自ら学ぼうとする学習意欲を持つ人を、様々な観点から総合的に評価するためAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
- 地域の様々な資源を効果的に活用し、発展させるための提言ができるようになりたい人

鳥取のお気に入り

ウィンタースポーツを満喫!

自然豊かな鳥取には、中国地方最高峰の大山、若桜町の氷ノ山といった有名なグレンデがあるんです。入学後に始めたスノーボードがめちゃ楽しくて、昨シーズンは何度も滑りました。

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	地域活性化についての講義を、1名の講師が75分行い、その後、受験生との質疑応答を15分行いました。
課題論文	スクーリングの内容と新しい共生型観光に関する資料(A4版で2枚)を読み、90分で2問の設問に答えるものでした。設問の内容は、300字以内でスクーリングの内容を要約するものと、800字以内で自身の考えを記述するものでした。
グループディスカッション	1グループ6名で、「観光及び観光以外の方法による地域活性化について」をテーマとした、60分のグループディスカッションを行いました。なお、進行については、教員が行いました。
個人面接	2名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。



しみず ちかこ
3年 | 清水 睦子さん [岡山県立岡山一宮高等学校 出身]

■ 願書を書くことで将来の夢が明確に!

0歳から保育園に通っていたからか、私は子どもが大好きで「将来は保育士に」という夢を抱いていました。国立大学の教育学部を進路に掲げるものの、高3の7月下旬まで部活動中心の生活で一般入試には不安が。そんな時、「鳥大にAO入試があるぞ」と顧問の先生が教えてくれたんです。しかも、幼稚園教諭・保育士両方の免許が取得できる。最後の大会終了後すぐ入試態勢に。入学志願票には苦労しました。書きたいことはたくさんあるのに、うまくつなぐことができなくて。でも、文章に表すことで頭が整理され、「地域の教育現場を縦横につなぐキーパーソンになりたい」という具体的な目標が見えてきたんです。モチベーションもUPしました。

■ 2次選考は過去問を駆使して練習あるのみ

高校に残っていた過去問をチェック、小論文は願書提出後から継続して練習。自分が書いた小論文を基にプレゼンする形式の「口頭発表」では、順番待ちの間にすばやく考えを整理、思いが伝わるように心がけました。どちらも難しかったけど、実体験と絡めてまとめるのがコツですね。ディスカッション練習は、AO・推薦仲間と週1ペースで。1回に4テーマと、とにかく数をこなしました。私は思いつきで発言しちゃうので、前置きが長くなり、結局何が言いたいのか分からなくなってしまふタイプ。「まず最初に結論、後で理由を述べる形で」という先生のアドバイスが役立ちました。入試対策は完全に。それが自信と余裕につながりますよ。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 4人

【趣旨】学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成をめざしています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多元的に総合評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
- 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人
- 大学での学習を通じて自己の価値観を築き上げようとする人

鳥取のお気に入り

日本海の海鮮は旨さ規格外!

日本海に面している鳥取は漁港が多く、魚が抜群に美味しい。オススメは魚定食専門の「おはよう堂」。刺身の分厚さがハンパないんです。みんなでシェアできるぐらいボリュームも満点。

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力のある人を求めます。

小論文	教育観に関する英文資料(A4版で1枚)及び日本文資料(A4版で3枚)を読み、120分で5問の設問に答えるものでした。設問の内容は、解答文字数300字のものが2問、図解をさせるもの(文字数の制限なし)が1問、及び問題文の読み取りの正確さを問うものが2問でした。
口頭発表	小論文で作成した図解を、1人あたり10分(発表7分、質疑応答3分)で発表するものでした。
グループディスカッション	1グループ10名で、「子ども達にとっての理想の学校はどのようにすればつくれるか」をテーマとした、90分のグループディスカッションを行いました。なお、進行については、司会を含む役割分担を受験生が決めて行いました。また、ディスカッションの後、受験生全員による提言についてのプレゼンテーションを行いました。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。



なかつ ころ

4年 | 中田 心 さん [鳥取県立鳥取商業高等学校 出身]

■ “鳥取”を学んで魅力を発信したい!

私は鳥取生まれの鳥取育ち。家族と県内の様々なスポットを巡り、鳥取は魅力的な所だと思って育ったのに、周囲の人は「鳥取は何もない。つまらない」と言う。そんな言葉にいつも不満を感じていました。そんな思いを知ってか、進路に悩む私に担任の先生が鳥大の資料を渡してくれました。読んでみると、学科のアドミッションポリシーや講義内容は私がやりたいことそのものだったんです。自分の意欲を示せるAO入試での受験を決意。夏休み中も毎日登校、入学志願票の作成、2次選考の準備と夜遅くまで必死に頑張りました。面接練習はいろんな先生と。質問に追い込まれ泣いたことも。厳しい指導でしたが、試験当日は温かく送り出してくれました。

■ 準備は万全に、本番は自分を信じて堂々と

部活動も習い事もやっていなかったので「自己表現」で何を行うか悩みましたが、英語スピーチコンテスト出場の経験を生かして、鳥取在住の外国人にアンケート調査を行い、集計結果を英語でプレゼンすることに。準備はAO受験を決めた直後から開始。何をやるにしても、1次選考の結果を待ってからでは間に合わないと思います。書道パフォーマンス・神楽・中国語スピーチと他の人もすごいアピール力でしたが、自信を持って臨みました。「課題論文」の練習はとにかく数をこなして。2次選考の個人面接で問われる英語での質問は、ALTの先生を相手に練習。基本的な質問に答えられるような対策は必須ですよ。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 4人

【趣旨】 様々な地域の文化(言語・文学・歴史など)の特性を深く理解しつつ、地域文化の継承・発展に寄与できる人や、国際的な視野をもって活躍できる人の育成を目標としています。このため、これらの領域における意欲、資質、能力を多様な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 地域固有の文化・伝統に関心があり、その文化資源の継承、発展を地域の人々とともに進めたいと思う人
- 国際的・実践的なコミュニケーションの力を身につけ、広く社会に貢献したいと思う人

鳥取のお気に入り

夏は日本海ビーチで海水浴を

「因幡の白うさぎ」伝説で有名な白兎海岸、美しい景勝の浦富海岸など、鳥取の海は透明度が高く海水浴に最適! 岩美町の牧谷や大谷海岸は穴場。プライベートビーチみたいです。

平成26年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

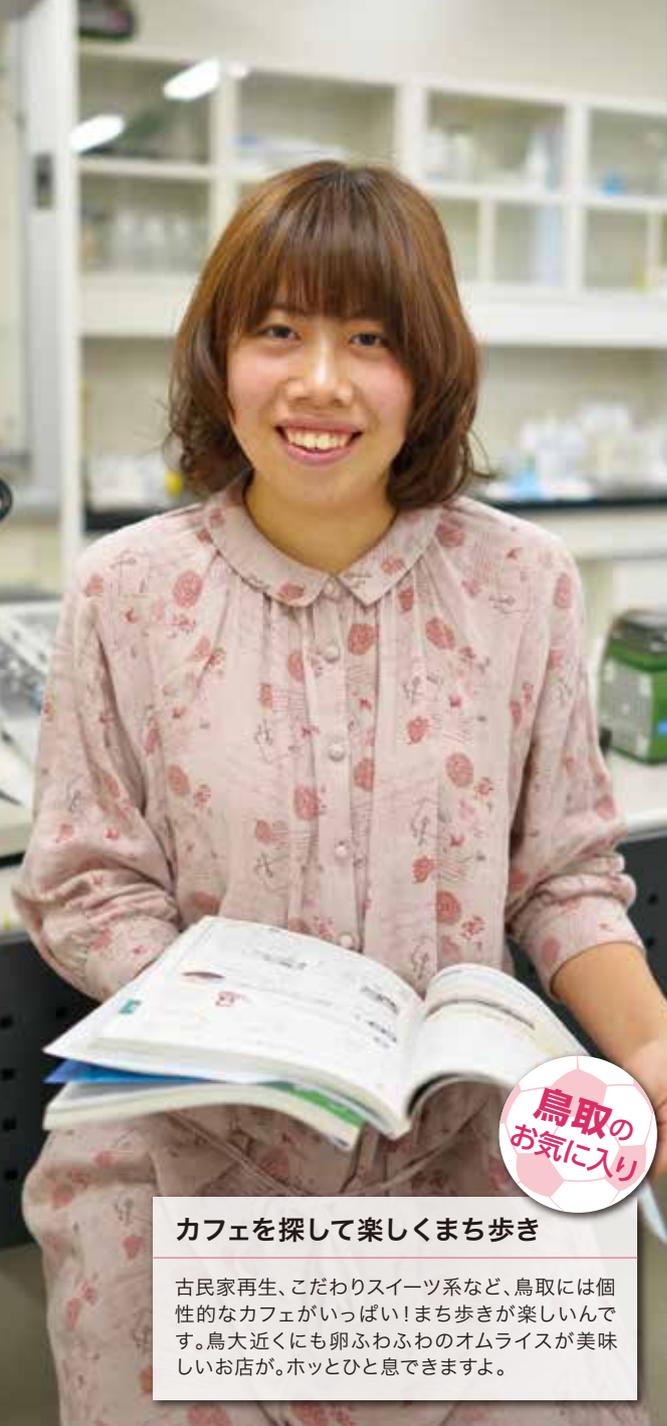
平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとす姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験等」に関する自己アピールを、1人あたり15分で行いました。
課題論文	「近代化と人の幸福の関係」に関する2種類の資料(A4版で3枚)を読み、90分で1問の設問に答えるものでした。設問の内容は、800~1200字で自身の考えを記述するものでした。
グループディスカッション	1グループ8名で、「真のグローバル人材とは何か」をテーマとした、210分のグループディスカッションを行いました。初めに4種類の資料(A4版で3枚半程度)を60分読んだ後、150分のディスカッションを行いました。なお、進行については、教員が行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。



なかやま けい

2年 | 中山 桂 さん [大阪府私立帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 出身]

■ 推薦・一般も視野に、まずはAOで挑戦

小2の時アリジゴクに興味を持ち、高2までずっと研究を続けてきました。その過程で、砂浜が工業廃棄物で汚染され、アリジゴクの生息数が激減するという環境破壊を目の当たりに。「環境保全」に取り組みたいという気持ちが芽生えたんです。環境系の大学を探中、実習が充実している鳥大を発見。出かけたオープンキャンパスでは、ザトウムシ研究で著名な鶴崎展巨先生が「ザトウムシの染色体は生息地域によって違うけど、アリジゴクも違うんだよ」と教えてくださり、「鳥大なら環境について様々な角度から学べる」と確信。私のアリジゴク研究が活かせるAOをメインに、推薦→一般入試と、合格するまで挑戦しようと思ったんです。

■ 環境問題にアンテナを張り、知識を蓄えよう

高2の秋にAO受験すると決めてからすぐに小論文練習を開始。毎日2~3題、新聞のコラムを要約し、自分の意見を書きました。課題作業は過去問や他大学の問題を解いたり、グラフの書き方を研究するなどして対策。また、環境問題の新聞記事を切り抜いて知識を蓄積。2次選考の個人面接では地元の環境問題について問われるので、自分なりの見解を持ち、意見を言えるようにしておくことはとても大事ですね。大学では、鶴崎先生の勧めで「生物分類技能検定」にチャレンジしたり、韓国の南ソウル大学に研修に行ったりと、充実した学生生活を送っています。卒論ではやはりアリジゴク研究に取り組みたいな。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 5人

【趣旨】 地域環境(自然・歴史・資源・エネルギー・ライフスタイル)をトータルに学習し、調査・研究の実践力を身につけ、地域の環境づくりに貢献できる人材を育成します。地域環境学の課題解決に向けて、とくに意欲と実行力をもつ人を様々な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する、意欲ある人を求めます。

- 自然のなりたち、生態系の機能を学術的に学び、環境保全にとりくみたい人
- 自然と人の関係を歴史や考古学の面から学び、地域の共生史を解明したい人
- 環境にやさしい資源・エネルギー利用や産業・情報システムを創造したい人

鳥取のお気に入り

カフェを探して楽しくまち歩き

古民家再生、こだわりスイーツ系など、鳥取には個性的なカフェがいっぱい!まち歩きが楽しいんです。鳥大近くにも卵ふわふわのオムライスが美味しいお店が、ホッとひと息できますよ。

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

自然現象や社会的現象などに対する科学的な視点や考え方、課題文や図表資料を読み解く読解力、面接での質問を聞き取る理解力、自分の考えを伝えるために必要となる論理的思考力、自己表現力、文章構成力、作図能力を求めます。

小論文	水資源に関する英文資料(A4版で1枚)及び日本文資料(A4版で2枚)を読み、120分で3問の設問に答えるものでした。設問の内容は、英文資料の内容把握(文字数の制限なし)、問題文の要旨(100~200字)、及び自身の考えの記述(600~800字)でした。
課題作業	解答時間は90分で、日本及び世界7ヶ国における利用エネルギーの比較に関する2種類の数値データから、それぞれグラフにまとめる作業を行い、作成したグラフから読みとれることを300~400字で記述するものでした。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり13分の面接を行いました。



鳥取のお気に入り

多機能な体育施設に感動!

鳥大の近くにある「布勢総合運動公園」は、陸上競技場や体育館など9つの体育施設がそろった便利な公園。部活のトレーニングに活用しています。緑の芝生広場もあって気持ちいいですよ。

さかい しゅん
4年 | 酒井 駿 さん [愛媛県立三島高等学校 出身]

■ 文章構成力はAO必勝の一手

野球に熱中、勉強は二の次だった高校時代。漠然と「理系の国公立大学・AO入試」という進路を思い描いてはいたけど、高3になってもまだゼロに近い状態。部活引退後、担任の先生が親身になって資料提供やアドバイスをしてくれました。その中で、幅広く学べる鳥大の社会開発システム工学科に目が留まったんです。AO入試に不安はなかったけど、願書には苦勞。文章構成が難しく、主語・述語のつながり、同じ接続詞を続けない、1文を長くせず適当な所で区切るといった作文テクニックを国語科の先生に教わりました。また、予備知識のない人でも内容を理解できるよう注意。これらのコツは小論文や面接の場面でも役立ちました。

■ 主な社会問題は必ずチェックしよう

講義等理解力試験は、講義メモ持ち込みOKなので恐れることはなし。小論文のテーマは「事業仕分け」。ニュースでなんとなく知っている程度だったので焦りました。新聞を読むなど日頃から時事問題に意識を向けておくことは必須ですね。個人面接では6人の先生を前にして緊張MAX。深い突っ込みに頭が真っ白になる瞬間もあるけど、堂々とありのままの自分をアピールするのが一番。口頭試問では基礎的な英語力が問われますが、苦手な人はきちんと準備を。僕も事前に自己紹介を英訳して練習、おかげで本番は大成功でした。大学では新しいことに挑戦しようと思い、スキー部に所属。クロスカントリー競技に夢中です!

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 2人

【趣旨】高い基礎学力を有するだけでなく、温かい人間性を身につけるために、幅広い教養といろいろなものへの理解を深め、自ら課題を設定して解決していく自主性と個性豊かな人材の育成を目的としています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多角的に総合評価するAO入試を実施します。

社会開発システム工学科が目指すソフトなエンジニアリング技術の研究・教育に興味を持ち、さらに次のような人を求めます。

- 社会や政治、経済に興味があり、新聞や論説をよく読んでいる人
- 日本だけでなく、外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人
- いろいろな事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫することが好きな人

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して 求める力

社会開発システム工学科では、社会や政治・経済および外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味があり、様々な事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫する人を求めます。

講義等理解力試験	本学科の教育内容や研究内容に関係する講義を、1名の講師が60分行い、その後、講義内容に関する筆記試験を60分行いました。
小論文	「気象庁による〈特別警報〉の新設について」をテーマに、60分で、自身の考えを400字に記述するものでした。
個人面接	5名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	5名の試験委員による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

※ 工学部は平成27年4月に改組を予定しており、学科名が変更になる可能性があります。



いわき ようへい
2年 | 岩木 陽平 さん [熊本県立熊本高等学校 出身]

■ 高校生活の成果をAOで輝かせたい!

ボーイスカウトや子ども会活動で自然と触れ合う機会が多かった僕。「これからは農学」という母の勧めもあり、鳥大農学部に興味を持ちました。乾燥地など魅力ある研究をやっているうえ、AO入試もある。僕は美術部・演劇部・ボランティアと3つの活動を頑張ってきたので、「この経験を生かすならAOだ」と考えていたんです。でも、その道は険しかった。志望理由を書けば「何が言いたいのか分からない」と厳しい添削、自己PRでは自分の魅力が分からず筆が止まる始末。箇条書きで頭を整理してみたり、自分自身について両親や先生と話し合うなどしてなんとか書き上げたものの、願書が完成したのは提出締め切りの前日でした。

■ 面接シミュレーションでスランプを克服

願書提出後すぐに1次面接の練習開始。ところが、なぜか先生の質問に何も答えられないんです。そこでまずは自分1人で特訓。録音した質問事項を再生しながら、鏡の前で答える方法で、なんとか面接スランプを脱出しました。1次選考は福岡会場で受験。本番ではスラスラ話すことができ、帰り道に思わずガッツポーズ(笑)。初めて1人で鳥取に出かけた2次選考の初日は、あろうことか寝坊! 慌ててホテルからタクシーを飛ばし、農学部の前に横付け。順番が後のほうだったのでなんとか間に合ったけど、冷や汗ものでした。ディスカッションでは協調性を大切に。「いい議論をして“全員合格”を目指そう」という気持ちでやるといいと思います。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 10人

【趣旨】 太陽と水と土に根ざす農学を自ら主体的に学び、幅広い視野と創造性をもって社会へ貢献できる人材の育成を目的としています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多面的に総合評価するAO入試を実施します。

いのちを育み環境を守る意志が強く、自ら積極的に学ぶ姿勢・チャレンジ精神・リーダーシップを有し、かつ次のいずれかに該当する人を求めます。

- 食料生産、自然環境修復あるいは生物資源の利用に関する研究・技術の開発普及に貢献することを志す人
- アグリビジネスあるいは環境関連産業において起業家を志す人
- 農学に関する知識・経験・実践力をもとに地域・国際貢献を志す人



野菜に魚介、鳥取グルメに舌鼓

熊本出身の僕には鳥取の食材が珍しくてたまりません。地元には流通していない砂丘ながいも・白ねぎにビックリ。松葉ガニ、ハタハタ、モサエビといった魚介類も必食の美味しさです。

平成26年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、農学部生物資源環境学科における、AO入試の閲覧物はありません。

全体を通して求める力

生物資源環境学科では、自ら意欲的に学び、学んだことを実践に応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

課題論文

「これまであなたは何をどのように主体的に学んできましたか。その内容や工夫について述べて下さい。また、それをどのように“自分の農学の学習”に生かすのか」を、具体的に1000字程度で記述するものでした。第1次選考合格者に、課題論文のテーマを与えて事前に記入し、第2次選考当日に持参しました。

グループディスカッション

1グループ6名で、「高齢者の多い集落の住民として、6名の学生が共同生活することになりました。1つ屋根の下で1年間グループとして何をしますか? また、そのための各自の役割を決めて下さい。」をテーマとした、90分のグループディスカッションを行いました。なお、進行については、司会を含む役割分担を受験生が決めて行いました。

個人面接

3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。

よくある質問

The question which often exists

Q&A

Q.1

AO入試と推薦入試の違いは？

A 推薦入試は、一般に高等学校長からの推薦、指定した出願条件による入試です。これに対してAO入試は一般に「自己推薦型の入試」であり、1校からの出願人数に制限はありません。本学のアドミッションポリシーを理解した上で、「学ぶ意欲、将来の研究や将来に対する構想」を出願書類、面接等で直接アピールしてください。

Q.2

AO入試の特徴・メリットは何ですか？

A 1次・2次選考を通じて、意欲、論理的な思考力・表現力に加えて、高校での学習履歴・基礎学力、様々な活動などを評価することが特徴です。その意味では、低年次からAO入試を見据えて高校生活を過ごしたかが問われます。本学では例年10月末に合格発表となり、入学手続後は、入学前教育合宿研修で各学部の教員からアドバイスを受けたり、同期入学者や先輩と交流を持つこともできます。スムーズに大学生活に入ることができるのは、AO入試の大きなメリットと言えます。

Q.3

他の入試での入学者と入学後の教育の違いはありますか？

A 本学では、推薦入試(I・II)、一般入試(前期日程・後期日程)など多様な入試を行っています。入試方法によって、カリキュラムや卒業要件などの教育内容の違いはありません。AO入試での入学者は学生生活を積極的に行っており、各学科内や部活動、サークル活動でもリーダーシップを発揮しているようです。

Q.4

他の入試(一般・推薦)との関係、有利不利はありますか？

A 本学では、AO入試で不合格になった場合でも、その後の推薦入試(I・II)、一般入試(前期日程・後期日程)に出願が可能であり、不利になることはありません。ただ、AO入試と推薦入試・一般入試では異なる観点で評価を行うことを理解しておいてください。

Q.5

なぜ、入学前教育を行うのですか？

A AO入試では、合格から入学まで4カ月以上間隔があり、その期間、基礎学力・学習習慣の維持が必要であるため、「高等学校での学習」と「大学での学び」を接続する入学前教育を行います。内容は、宿泊を伴う合宿研修、自宅でのeラーニング、学科指定のレポート等です。詳しい内容は、【本学ホームページ-受験生の方へ-入学センター-入学前教育について】をご覧ください。

Q.6

出願書類、選抜方法とその内容は？

A 出願に必要な書類は、入学志願票(志望理由・自己PRを含む)・調査書等です。入学志願票以外の資料等(賞状の写、論文、写真、CD)は添付できません。第1次選考は出願書類と面接の総合評価です。全国に5会場を設置するので都合の良い会場で受験してください。第2次選考の内容は学科により異なり、スクリーニング、講義等理解力試験、小論文、課題論文、課題作業、グループディスカッション、個人面接などです。詳しくはAO入試学生募集要項でご確認ください。

Q.7

資格・検定の取得、コンテスト等は どう扱われますか？

A AO入試は、資格や検定を取得したことや各種コンテスト入賞の有無を評価する入試ではありませんが、その分野に関心や適性、能力があることを判断する材料になります。一例として、本学では入学後に英語力を重視するため、英検、GTEC for STUDENTS、TOEIC Bridge等を受検した方は志願票の【資格・検定】欄に記載することになっています。その他の資格・検定、コンテストに関しても、自分の活動の中での位置づけ、取得に至るプロセスを説明できるようにしてください。

Q.8

過去の問題を閲覧、入手することは できますか？

A 過去3年の入試問題を、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。ただし、問題冊子についてはお渡しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。なお、本学が各地で参加する進学相談会においても、平成26年度のAO入試問題を閲覧することができます。

Q.9

学生募集要項の請求、情報の入手方法は？

A AO入試学生募集要項は、7月上旬に配布予定です。本学のホームページから請求できるほか、進学相談会、本学窓口でも直接入手できます。学部・学科に関する情報はホームページ、オープンキャンパス等で入手できます。また、各地で開催される進学説明会には入学センター教員が出席します。ご不明な点、ご相談がある方はぜひ会場へお越しください。

⇒ 鳥取大学の情報を調べるには

AO
Admissions Office



■ 大学案内2015

■ 平成27年度AO入試学生募集要項

いずれも7月上旬頃、完成予定です。

下記の本学ホームページまたは右下の携帯電話サイトからお申し込みください。

7月以降の進学相談会（高校生、高卒生、保護者等 対象）・8月のオープンキャンパスでも入手できます。

■ 進学相談会（AO入試出願日までの実施分／他大学との合同形式）

時間内は随時、入退会ができますので、お気軽に会場までお越しください。また、質問内容を右下のお問い合わせE-mail、または入学センターホームページのお問い合わせフォームで事前送信いただくと日はスムーズに対応できます。なお、会場の追加や時間の変更などもありますので、ご来場の際には入学センターホームページの進学相談会のページをご確認ください。

日程	時間	都市	会場
4月 15日(火)	15:00~18:30	岡山	岡山コンベンションセンター
4月 18日(金)	16:00~18:00	浜田	浜田ワシントンホテルプラザ
4月 22日(火)	15:30~18:00	松江	松江テルサ
4月 23日(水)	14:00~19:00	京都	みやこめっせ
4月 23日(水)	15:30~18:00	米子	米子コンベンションセンター
5月 8日(木)	15:30~18:00	鳥取	ホテルモナーク鳥取
5月 8日(木)	16:00~18:30	岡山	岡山コンベンションセンター
5月 25日(日)	11:00~16:00	静岡	ツインメッセ静岡
5月 25日(日)	13:00~16:00	大阪	大阪府立体育会館
6月 3日(火)	15:30~18:30	高松	JRホテルクレメント高松
6月 5日(木)	15:30~18:30	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館
6月 11日(水)	15:30~18:30	長崎	ベストウエスタンプレミアムホテル長崎
6月 12日(木)	16:00~19:00	鳥取	ホテルモナーク鳥取
6月 12日(木)	15:00~18:30	大分	トキハ会館
6月 13日(金)	16:00~19:00	米子	米子コンベンションセンター
6月 14日(土)	11:00~16:00	東京	サンシャインシティ
6月 14日(土)	10:00~16:00	名古屋	愛知県体育館
6月 14日(土)	13:30~16:30	松江	くにびきメッセ
6月 21日(土)	11:00~17:30	大阪	インテックス大阪
6月 22日(日)	10:30~16:00	東京	キャンパス・イノベーションセンター東京
7月 11日(金)	12:00~16:30	横浜	パシフィコ横浜
7月 11日(金)	14:00~17:00	明石	明石市立産業交流センター
7月 12日(土)	11:00~17:30	東京	東京ビッグサイト
7月 13日(日)	11:00~17:00	東京	サンシャインシティ
7月 13日(日)	11:00~16:00	大阪	ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
7月 13日(日)	11:00~16:00	広島	NTTクレドホール
7月 15日(火)	11:00~17:00	大阪	インテックス大阪
7月 19日(土)	11:00~16:00	名古屋	名古屋国際会議場
7月 20日(日)	11:00~16:00	大阪	大阪国際会議場
7月 20日(日)	13:00~16:00	岡山	岡山コンベンションセンター
7月 20日(日)	11:00~16:00	福岡	福岡国際センター
7月 22日(火)	12:00~18:30	名古屋	ポートメッセなごや
7月 27日(日)	11:00~16:00	横浜	パシフィコ横浜
7月 27日(日)	11:00~16:00	名古屋	吹上ホール
8月 29日(金)	13:00~16:00	姫路	ホテル日航姫路

■ 学外オフィス（大阪オフィス、東京リエゾンオフィス）

各オフィスでも大学案内、学科パンフレット、学生募集要項等を配布します。

（大阪）〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内

（東京）〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター東京603号

オープンキャンパス2014

※プログラムの詳細、申込に関しては、「本学ホームページ入学試験情報」でご確認ください。

8/2
(土)

地域学部：鳥取キャンパス
工学部：鳥取キャンパス
医学部：米子キャンパス

8/3
(日)

農学部：鳥取キャンパス

■ 学部・学科構成

※朱色がAO入試実施学科です。

地域学部 Faculty of Regional Sciences

地域政策学科

地域教育学科

地域文化学科

地域文化学科 芸術文化コース

地域環境学科

医学部 Faculty of Medicine

医学科

生命科学科

保健学科 看護学専攻

保健学科 検査技術科学専攻

工学部 Faculty of Engineering

機械工学科

知能情報工学科

電気電子工学科

物質工学科

生物応用工学科

土木工学科

社会開発システム工学科

応用数理工学科

農学部 Faculty of Agriculture

生物資源環境学科

共同獣医学科



お問い合わせ E-mail
(ao-1@adm.tottori-u.ac.jp)



鳥取大学携帯電話サイト

このパンフレットの情報は、変更になる場合があります。必ず「平成27年度AO入試学生募集要項」でご確認ください。

鳥取大学入学センター（学生部入試課）

〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101

TEL 0857-31-5851 FAX 0857-31-6778

URL(パソコン) <http://www.adm.zim.tottori-u.ac.jp/>